

## 片山内閣府特命担当大臣（地方創生、規制改革） 記者会見要旨

日時：平成30年10月23日（火） 18:13 ～ 18:18

場所：首相官邸ロビー

### （冒頭発言）

たった今、第36回国家戦略特区諮問会議が無事終了し、お手元の紙にあるとおり、区域計画の認定、特区の再スタート、「スーパーシティ」構想について、という三つの議題は、いずれも承認されました。

このうち、特区の再スタートにつきましては、諮問会議などの場を通じて累次にわたって、民間議員の皆様から御指摘をいただいていたとおり、この1年ちょっと、特区制度が本来持つべき新たな岩盤規制改革的な取組み力が事実上機能停止してきたのではないかという反省に立ち、重点課題の選定、特区自治体との信頼関係の回復、事務局体制の再構築につきまして、我々政務三役、自らリーダーシップをとって取り組んでいくことをご説明し、委員の先生方の御了解をいただきました。

それから、「スーパーシティ」構想につきましては、その構想の中間取りまとめという形で、11月中を目標に取りまとめるべく、私の私的懇談会を立ち上げることをお諮りし、御了承いただきました。

具体的には、民間有識者の皆様のお力を借りて、10月29日に第一回の会議を開催する予定としております。そして、民間の有識者の皆様からは、それぞれの特區制度に対する思いについて語っていただきました。いずれにしても、新体制になってからこれだけ早く再スタートを切れたこと、また、「スーパーシティ」という新構想に取り組むことが、安倍総理のもと決まったことについて、大変な歓迎をいただき、これからみんなで一致団結して岩盤規制を打破して、日本を前に進めて行こうという非常に良い会議になりました。

安倍総理からは、これからも安倍内閣の成長戦略のメインエンジンはこの国家戦略特区と規制改革であること、国家戦略特区こそがその突破口であること、とりわけ技術革新のスピードが早すぎて時代に合わない制度や規制を思い切っただけで見直さないとイノベーションを促せないこと、ガバナンス・ギャップの解消に内閣を挙げて取り組もうということ。

また、こういった観点から、「スーパーシティ」構想についての基本コンセプトを早期に取りまとめるなど、今日民間議員の皆さんから御提案のあった一層の活性化に向けて、片山大臣と民間議員の皆さんには力強く取り組んでいただくことをお願いするとの指示をいただきましたので、総理の指示を踏まえて検討を急ぎたいと思います。以上でございます。

(質疑応答)

問： 岩盤規制の重点項目を選定するということですが、これまでも色々  
と課題は選定されてきたと思うんですが、何がこれまでと違うのか教えても  
らってもいいですか。

答： まさに、重点課題の選定がまだこの瞬間にできていないということ自体が  
問題で、だから「再スタート」になったんですね。これに関しては、お話にも  
出ていました保育の配置の問題や、遠隔教育、さらに給与の振込に当たっ  
て、ペイロールカードを一般に広めたいといった課題があり、それを是非進  
めるべきだという話が議員からも出ていました。他にもいくつかあります。  
最初のほうに挙げられたのは、その保育の話と、今言った二つの話です。遠  
隔教育は特に小学校、中学校ですね。

(以上)